

平成25年度病害虫発生予察注意報第1号

平成25年4月16日
愛知県

作物名：ナシ
病害虫名：黒星病

- 1 発生地域 県内全域（特に西三河地域）
- 2 発生時期 やや早い
- 3 発生程度 多い
- 4 注意報発令の根拠

(1) 4月上旬の巡回調査において、32ほ場を調査したところ、西三河地域の8ほ場でナシ黒星病の発生を確認した。発生ほ場率25.0%、花そう基部の発病率0.64%（平年：発生ほ場率2.97%、花そう基部の発病率0.05%）と、過去10年間と比較して発生ほ場率、花そう基部の発病率ともに最も高かった。

(2) 昨年10月下旬における巡回調査の結果、発病葉率は1.50%（平年0.64%）と、過去10年間と比較して2番目に高く、越冬菌量が多いと考えられる。

5 防除上注意すべき事項

- (1) 発病した葉や果実は伝染源となるので取り除き、園外へ持ち出すなど処分を徹底する。
- (2) 薬剤感受性の低下を避けるため、同一系統薬剤の連用を控え、異なる系統の薬剤をローテーション散布する（下表参照）。
- (3) 農薬の散布に当たっては、ラベルの表示事項を守るとともに、他の作物や周辺環境への飛散防止に努める。

表 ナシ黒星病に対する主な防除薬剤

薬剤名	希釈倍数	収穫前日数	使用回数	系統
チオノックフロアブル	500倍	収穫30日前まで	5回以内	A
ベルコートフロアブル	1,500倍	収穫14日前まで	5回以内	B
スコア顆粒水和剤	4,000倍	収穫14日前まで	3回以内	C
オキシラン水和剤	500～600倍	収穫3日前まで	9回以内	D
アフエットフロアブル	2,000倍	収穫前日まで	3回以内	E

系統名 A：有機硫黄系、B：グアニジン系、C：EBI（DMI）系、
D：有機塩素系＋有機銅、E：チオフェン系

6 連絡先

愛知県農業総合試験場環境基盤研究部病害虫防除室
電話：0561-62-0085（内線471）